

古塩まさよし

後援会だより

Vol. 4 2018年 秋号

〒252-1124 綾瀬市吉岡 3344

http://www.m-koshio-ayase.jp

Email:kik.koshio124@jcom.zaq.ne.jp



都市の質を上げる

人口減少時代の都市

古塩 政由

人口減少と都市経営

綾瀬市では、近年、人口が自然増、社会増とも縮小、今後は人口減少に転じます。人口減少は地域の経済や社会に大きな影響を及ぼすこととなります。これまで成長型の経営を行ってきた自治体は、人口減少時代に備えた都市経営に転換していく必要があります。人口が減って都市規模が小さくなっても、環境を改善し、生活の質を向上できれば、都市として成長し、発展していくことも可能です。

減災対策とコミュニティ

都市生活を送る上で何より重要なのは安全・安心の確保です。最近、全国各地で地震や台風などによって甚大な被害が発生し、防災

対策の重要性がますます高まってきました。被災地の状況をみますと、地域の防災力をはるかに上回る被害が起こっており、被害を完全に防ぐことができなくなっています。

被害を完全に防ぐことはできなくても、被害をなるべく少なくすることは可能です。これが減災対策です。平常時にいかに被害を減らすために対策を講じるかが重要となります。これを行

政だけで行うのでは減災は達せられない。災害時に被害を受けるのは何より市民であり、市民の主体的な活動が不可欠です。

災害で助けられた人の80%が、特殊な技能を持っていない人により救出されている。救出にはタイムリーであることが決定的に重要で、近所の人たちがエキス

パートより有利、と言われるています。

東日本大震災では、コミュニティがあつたにも関わらず、機能しなかつたそうです。この綾瀬には、自治会はじめ様々な地域組織やコミュニティがありま

す。東日本のように「あつたけど、なかつた」コミュニティの状況にならないよう、災害時に連帯や共同性を発揮するコミュニティを創っていくことが重要です。それには、日頃から地域同士のつながりを維持し、住民が主体的に実践的な訓練を繰り返すことで実現可能だと思えます。

文化は都市のインフラ

人口減少社会では、あれもこれもと手を出すことはできない。施策を地域の個性に特化することも必要です。中でも文化は都市にとってのインフラ（基盤）とも言つべきものです。

今年の8月に開催した「歴史展」は、市内外から大勢の方が来られ、大盛況

でした。目久尻川の流域には旧石器時代の吉岡遺跡群、縄文時代の早川城跡遺跡、弥生時代の神崎遺跡、中世時代の宮久保遺跡など4万年に渡る遺跡が存在。また、流域住民が信仰してきた神社・仏閣や、日々の生活から生まれた民話なども沢山残っています。

さらに、この流域は農地や緑地、湧水などの自然環境に恵まれ、目久尻川を中心とした田園風景は、まさに日本人の原風景とも言えます。

目久尻川文化ゾーン

これらの遺跡や文化財民俗、自然、景観などは綾瀬にとって貴重な財産です。市民の誇りでもあり、観光資源としても活用できます。目久尻川のサイクリングロードを軸にして、多くの人が行き交い、自然や文化を味わうことができる「目久尻川文化ゾーン」として、このエリアを保存整備していきたいと考えています。



古塩まさよし後援会 日帰り研修旅行報告

各地域から乗車したバスは、海老名ICから圏央道に乗り、渋滞もなく八王子JCで中央道に乗り換えて、談合坂サービスエリアで休憩しました。ここで9台のバスが集合し、勝沼のハーブ園に向かいました（先にワイナリーに向かうバスもあり）。

ハーブ園

ブドウや桃で有名な勝沼で一般道路に出て塩山方向に向かい、10時前にハーブ園に到着しました。庭園の薬草などの説明を聞いた後、売店に入りハーブの加工品を物色しました。



ワイナリー



その後、バスに乗り込みワイナリーに行きました。ワインの製造工程を見学ルートに沿って歩いて、地下を登ると売店の建物に出ました。ここでも思い思いの買い物を楽しみました。

7月24日の「後援会日帰り研修旅行」には酷暑の中にもかわらず、380名の方々のご参加をいただき、誠にありがとうございました。
お陰様で事故もなく、無事かつ盛大に実施できましたことは、参加の皆様をはじめ、各バスの幹事、副幹事の皆様のご協力の賜と心からお礼申し上げます。

古塩まさよし後援会 会長

近藤 亘

忍野八海

忍野八海を訪れました。中国人の観光客が多く驚きました。我々が中国に行ったみたいな錯覚がしました。

帰路は東名高速の渋滞で伊勢原から圏央道合流まで時間がかかりました。



リニア見学センター

一宮御坂ICから中央自動車道に戻り大月に向かいました。大月ICから都留市に入ると、リニア新幹線の高架橋が見えて来ました。

県立リニア見学センターへ入るとリニアモーターカーの実物大の模型があり、車内の見学が出来ました。



◇写真提供 藤代裕三さん
古山 豊さん
伊藤和徳さん

◇文章は皆様からいただいたものを編集しました

里の駅いちのみや



11時50分、国道20号線沿いの「里の駅いちのみや」に到着し、入口で古塩政由市長と夫人の出迎えを受けました。バスごとのテーブルに座り食事をとりました。この暑いのに焼肉があると、いささか違和感がありましたがおいしく平らげました。

社会保障給付費について

…小器凡器の独り言…



古塩まさよし後援会

会長 近藤 亘



2040年度の社会保障

給付費は190兆円、高齢化で18年度121兆円の1.57倍（政府推計）との見出しが新聞にありました。

我が国の高齢者人口が約4000万人とピークを迎える40年頃の推計を政府が示したものであり、伸びが大きいのは介護で、18年度の2.4倍（10.7から25.8兆円）、医療は1.7倍（39.2から68.5兆円）、子ども子育ては1.6倍（7.9から13.1兆円）、年金は1.3倍（56.7から73.2兆円）などです。

今後、政府は当然、給付を抑え、負担を増やす方向で議論するでしょう。また、将来的には消費税率の大幅な引き上げも議論となるの

でしょうか？

いずれにしても、元気な高齢者は、多大な社会保障貢献をしていることになりました。更に地域福祉の担い手になっていただければ、綾瀬市の地域福祉が充実いたします。

ところで私はこの5月に腰椎椎間板ヘルニアの除去手術を受け、国民健康保険の高額療養費の給付まで受けましたので、失格でしょうね！

なお、社会保障給付費とは、国民が利用した介護や医療などに対し、国や地方自治体が支払った費用であり、主に税や社会保険料が財源で、国民の自己負担（窓口負担）は含まれておりません。

趣味 彩歳

台唱と登山

寺尾天台支部長

藤代 裕二

綾瀬シティーコーラス
演奏会



◎古塩まさよし「研修旅行」開催
平成30年7月24日に研修旅行が開催されました。詳細はp2〜3参照。

後援会 活動 報告



サラシナショウマの花

◎今後の予定

- ☆後援会忘年会
日時：12月2日（日） 18時〜20時
場所：ニユーロード
- ☆平成31年新春の集い
日時：2月2日（土）
14時〜16時30分
- 場所：綾瀬市オーエンス文化会館
大・小ホール

混声合唱団さがみに発足から10年ほど経ちました。仕事柄、横浜みなとみらいで1992年下水道展を開催する前夜祭として、「みずのいのち」を歌う会を横浜市民に呼びかけ国際会議場ホールで演奏しました。

水の命を歌う会を母体にして横浜シティーコーラスを立ち上げ、黒石英臣氏の指導を受け神奈川県庁で県民ホールにて「みずのいのち」を歌う会を横浜市民に呼びかけ国際会議場ホールで演奏しました。

水の命を歌う会を母体にして横浜シティーコーラスを立ち上げ、黒石英臣氏の指導を受け神奈川県庁で県民ホールにて「みずのいのち」を歌う会を横浜市民に呼びかけ国際会議場ホールで演奏しました。